

## サリ フィリピン出身の元カトリック信者

:

明:カトリック修道女による苦い と良い 末。

目:[事新改宗者ムスリムの逸 女性](#)

より: サリ

日14 Sep 2015

集日 14 Sep 2015



私は敬虔なカトリックの家庭に生まれ、カトリックの と において育てられました。私は15 で修道院に入り、修道院にいる は修道女としての を果たすことができ幸福でしたし、家族を含む周りの人々も私のことを に入れてくれました。

しかしある 期から 、「私はこんな修道院の中で一体何をしているのだろうか? 」と自し始めました。私は小さく控え目な礼 堂に留まり、神が私のことを本当に いてくれているのか いました。教理 答 から、神は祝福された秘 にいるということを学んでいたからです。

多くの疑 が をよぎっていました。特にイエス キリストの について次々と疑念が生じていました。しかし、司祭や修道女仲 にそのことを ねる勇 はありませんでした。彼らが私に反感を持つのではないかととても怖れていました。

そうして疑念をくすぶらせ けました。それにもかかわらず、私は 操と清、そしてイエス キリストを主であり、神の子であるという な誓いをたて、それを10年 にも渡って更新し けてしまいました。そして遂にそれに耐え切れなくなりました。

私は礼 により心を めるようになり、神に きと正しい道を示してくれるよう祈りました。

私が修道院を去れば、母はとても苦 することでしょう。父に しては、教会を出て自分の家族を持つことに反 しませんでした。

しかし私は家族、特に母、司祭 の2人の兄弟、そして修道女の4人の 妹たちを つけたくありませんでした。

そして何よりも、私は自分の信念に反することを 践していながらも、幸福であるかのように装うような 善者でいたくはありませんでした。

それゆえ、私は永 の誓いをたてる申 を提出しませんでした。修道院 と言 を交わし、修道院を去ることを告知しました。

家族には告げ知らせることなく、私は生活のために仕事を探しました。しばらくして者をしている しい友人に会うと、マラウィ市の彼の教会で教区コ ディネ タ として くことを提案してくれました。

私の家族は私が修道院を去ったことを 接的に知りましたが、彼らにとってそれはとても受け入れ いことでした。しかし彼らは私がいつしか教会に ることを望んでいたようです。

教区コ ディネ タ として いていたとき、私を雇用した 者は私に酷い仕打ちをしました。

彼は 料をくれなかったばかりか、私に性的虐待を加えようとさえしました。しかし幸なことに、彼はその邪 な意 を成就させることはできませんでした。

私は再び神に祈り始め、私と共にあるよう、そして私を幸福にしてくれるよう みました。私はそれまでの人生で安 感というものを得たことがありませんでした。私の心と精神は惨めな状 でした。

## 新たな日

2001年6月17日の早朝、美しい声が こえてきましたが、それが何かは分かりませんでした。それは近所のモスクから こえてきているようでした。それが こえるとすぐに、まるで清らかな水に浸かっているような がしました。それがどのような感 だったのか言 で表すことはできません。

その日、何が こえたのかは分からなかったものの、幸福感が心のなかに入ってくるのを感じました。その素晴らしい声を いた 、私は自分にこう言い かせました。「新しい日と新しい始まりが来たのよ。」

その朝起床し、その声が何かと ねるとムスリムによる礼 への呼びかけだと教わりました。奇妙なことに、私はこの街（マラウィ）に2001年5月の第1 に来たのですが、2001年6月のその朝までその声に 付かなかったのです。

その日、私はイスラ ムとムスリムについて べてみることにしました。私は最 的に辞 するまでイスラ ムに する本を み けました。パンパンガの 家に ると、父が既に他界していたことを知りました。

私はしばらく 状 に ったものの、イスラ ムに して べ けていました。その マニラに り、イスラ ムについて 明してくれる人が れるのを期待しました。心のなかではイスラ ムを受け入れる はできていましたが、その方法が分かりませんでした。

私は根 よくインタ ネットで 索しました。イスラ ムについて教えてくれるムスリムを つけるため、チャットル ムに加わったりもしました。

2004年6月16日、私はマニラである男性ムスリムと出会いました。彼は快くイスラ ムについて教えてくれ、私はその で 言しました。

??  
??

その 命的な日、私はようやく家と呼べるものをつけました。それはイスラ ムの家であり、そこでは 情、幸福、喜びを出すことができました。私は心から笑うことができるようになりました。その日、私はぐっすり眠りにつきました。

私は祈りを捧げるときは 回 します。それは悲しみの ではなく、喜びの です。その喜びはお金で うことはできないものです。それを言 に表すことはできません。

??

アッラ が私の家族の心をイスラ ムへと いてくださいますように。そしてアッラ が私たちを 魔からお りくださいますように。ア メン。

ムスリム同胞の兄弟 妹よ！ 私のためにお祈りください！

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1930>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。